

目標達成計画

事業所：グループホーム くつろぎ

作成日：平成23年 2月 18日

市町村受理日：平成23年 2月 18日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|---|---|----------------------|
| 1 | 18 | 軽作業をお手伝いをして頂いたり、教えて頂いたりするよう努力しているが、一方的な介護になってしまっている事が多く見受けられる。又、自立度の高い方との共同作業が多くなっている。 | 入居されている方が「お世話になっているばかり」「私は何も出来ない」等と思うのではなく、「私も出来る」「役にたつ」等の自信と、共に暮らしているという気持ちを持って頂く。 | 実際に行動できる方には日頃から軽作業のお手伝いをして頂くのを継続しつつ、行動出来ない方も参加して頂き、会話等しながら同じ空間・時間を共有して頂く。 | 3ヶ月 |
| 2 | 19 | ほとんど来訪されないご家族もいることと認知症のご本人を受け入れられずに疎遠になっていくご家族もおり、ご本人の寂しさや不安、攻撃等に繋がっていることもある。 | 認知症という病気のご本人を共に支えていく為にご本人の状況・状態を理解して頂く。 | 今まで希望される方のみ日常生活記録を毎月送付していたが、今後は全員の方へ送付していく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 34 | 急変や事故発生時に備えての勉強や訓練を定期的にしていない。 | 勉強や訓練を重ねて行くことで緊急時に慌てず、適切な対応が出来る。 | 1、消防機関による訓練に参加する。2、勉強会の開催。3、マニュアルの見直し | 1、1年 2、1年 3、1月 |
| 4 | 4 | 運営推進委員会への参加者が少ないことで地域との関わりが薄い。 | ホームの活動を周知するよう努力して理解を深めていく。 | 行事等で日時の案内に留めるのではなく、「〇〇のボランティア依頼」等の文面を添える。 | 1年 |
| 5 | 35 | 隣近所には口頭で災害時の援助をお願いし快い返事を頂いているが、まだまだ協力体制の不足が認められる。 | 近隣の住民の理解・協力を増やす。 | 避難訓練への近隣住民の参加の呼びかけと運営推進委員会等に消防機関の参加を依頼して災害対策について講演をしてもらう。 | 1年 |

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。